

記事を読んで下の問い合わせに答えましょう。



カーボンニュートラルLPガス購入の流れ



カーボンニュートラルLPガスを購入する仕組み。ENEOSグループは、カーボンクレジットを購入し、CNLPGは、それが認証したクレジットを購入し、りゅうせきに供給している。りゅうせきは、年間、1,000tを購入。本社ビルや各物流拠点で使用するLPG 1,300tのうち、CNLPGが認証したクレジットを購入し、りゅうせきに供給している。

（小波津智也）

琉球新報 2022年7月7日付5面

【1】「CNLPG」は何の略語ですか？ 文章中から抜き出してみましょう。

カーボンニュートラル液化天然ガス

【2】「CNLPG」はどのような仕組みですか。文章中から抜き出してみましょう。

CO₂などの温室効果ガスを削減した分を「クレジット」として売買することで LPG の排出量を実質ゼロにする仕組み。

【3】この仕組みを利用することで、りゅうせきは年間どのくらい CO₂排出量を削減できる見込みですか。

約334トン

【4】この仕組みを活用することで、SDGs の 17 ある目標のうち、どの目標につながりますか。

例：「7・エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」などがあります。健康やまちづくり、森や海を守るゴールにもつながりそうですね。

発展問題①脱炭素に向けて、日本を含めどのような取り組みがなされていますか？

ヒント：エネルギーの中で CO₂を多く排出するものの一つに「石炭」があります。この夏電力不足などが言られている中で、どんな取り組みが日本や世界で実践されているかを調べてみましょう。

発展問題②「持続可能な地域づくりに関連し、現在の沖縄が抱える課題について、どのような解決策があるかを調べてみましょう。

ヒント：環境問題だけでなく、さまざまな視点から考えてみましょう。

夏休みは、自分の関心があるものについて、ぜひ探究してみてください。

今回は脱炭素に向けた県内企業の取り組みを扱ってみました。

難しいことはもありますが、意味を調べるなどして頑張ってください！

りゅうせきガス CO₂ゼロ

りゅうせき（浦添市、當銘春夫社長）は6日、一酸化炭素(CO₂)の排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル液化石油ガス(CNLPG)の取引を1日から開始したと発表した。同社によると、県内初の取り組み。液化石油ガス(LPG)の輸入・販売を行うENEOSグループ(東京、江澤和彦社長)から購入し、同社施設での使用を足がかりにCO₂削減の意識を啓発し、県内での普及を目指す。

自社使用で334トン削減

CNLPGは、企業や団体の取り組みでCO₂など温室効果ガスを削減した分を「クレジット」として売買することで、LPGの排出量を実質ゼロにする仕組み。ENEOS

Sグループは米国際NGOのVerra(ベラ)が認証したクレジットを購入し、りゅうせきに供給している。りゅうせきは今年、1,000tを購入。本社ビルや各物流拠点で使用するLPG 1,300tのうち、CNLPGが認証したクレジットを購入し、りゅうせきに供給している。

（小波津智也）

100tをCNLPGに置き換える。これで年間約334tのCO₂排出量削減につながるという。

6日にりゅうせきでCNLPG供給証明書授与

式が行われ、島袋博文取締役にENEOSグローバルの藤井孝志取締役常務執行役員が証明書を渡した。藤井氏は「CO₂排出をゼロにするグリーンL

PGの誕生にはまだ時間がかかる。まずはオフセット(相殺)の取り組みで社会に貢献したい」と強調した。

島袋氏は「脱炭素を推進し、持続可能な地域づくりに努めたい。社での費用対効果なども踏まえ、事業者のニーズに合わせたサービス拡大も検討したい」と語った。

（小波津智也）